

悠 久

～タイトル由来～
「果てしなく長く続いてほしい」という想いから、これまでもこれからも
福祉事業に携わっていくという、強い信念と未来への期待を込めています。

広報紙 悠久

第5号 平成25年 7 月発行

新潟県村上市上の山 2 番 1 7 号

TEL 0254(50) 2222

社会福祉法人 村上岩船福祉会

URL:<http://www.murakamiwafune.or.jp/>



「羽衣園 ユニット棟玄関前にて」



ごあいさつ

理事 倉松 義男

村上岩船福祉会の役員に就いてから五年が経過しました。そして、この六月の役員改選にて再度理事を拝命し、改めてその責任の重さを痛感しているところです。

思い起こすとこの五年間は、日本の政治の変革期であり、政権が変わる度に福祉行政の方向が懸念されてきたところです。ですからこれからは福祉関係者が安心と期待の持てる施策を打っていただきたいものと願っています。

さて、サービス業では、100マイナス1は99ではなく0と言われていますが、これは、組織の業務遂行プロセスのなかで誰かが手を抜くと、顧客は、手抜きなどした最も低い水準を全体の水準とみなし、また、評価されることになり、以後は利用しない、訪れないことを表しています。このことは「最少率の法則」と呼ばれると聞いています。

福祉会の業務も同じことが言えるのではないのでしょうか。役職員が自らの立場、役割のなかで何が出来ることが問われるところです。

昭和五十七年の浦田の里からスタートした村上岩船福祉会は先人の皆様のご努力により今日の姿があります。今後も「一人ひとりの安心と笑顔のために」をモットーに、地域に根差したサービスにより利用者から喜ばれる、地域の方々に信頼される施設づくり、福祉会づくりを進めていかねばと考えております。

どうか、皆さま方からの一層のご支援をお願い申し上げます。



障害者支援施設浦田の里 (入所50名)

施設入所支援(50名)
短期入所(児童・者)(6名)
生活介護(28名)
自立訓練(生活)(18名)
日中一時支援事業(6名)
相談支援事業

障害福祉サービス事業所浦田の里(通所) (40名)

生活介護(20名)
就労継続支援(B型)(20名)
村上市岩船231-1
TEL 0254-53-1803

あかね寮 (7名)

村上市大欠10-6

いいのホーム (5名)

村上市飯野3-15-49

社会福祉法人 **村上岩船福祉会**

基本理念

一人ひとりの安心と笑顔のために



特別養護老人ホームゆり花園 (長期50名短期20名)

在宅介護支援センターゆり花
村上市勝木862-10
TEL 0254-77-2475



【従たる事業所】

障害福祉サービス事業所みどりの家朝日

村上市鶴渡路1999-2(B型)(20名)
TEL 0254-72-0288



特別養護老人ホーム羽衣園 (長期70名短期20名)

デイサービスセンター羽衣(32名)
居宅介護支援事業所羽衣
在宅介護支援センター羽衣
村上市岩沢1616
TEL 0254-72-0055

高齢者生活福祉センターふれあい羽衣 (15名)

村上市岩沢1622
TEL 0254-72-6722



特別養護老人ホームいわくすの里 (長期80名短期20名)

デイサービスセンターいわくすの里(30名)
居宅介護支援事業所いわくすの里
在宅介護支援センターいわくすの里

障害者支援施設いわくすの里

施設入所支援(20名)
短期入所(2名)
生活介護(26名)
日中一時支援事業(5名)
村上市上の山2-17
TEL 0254-50-2100

本部事務局

TEL 0254-50-2222



【主たる事業所】

障害福祉サービス事業所みどりの家

就労継続支援(B型)(30名)
村上市羽黒町1-3
TEL 0254-52-1930



特別養護老人ホームさつき園 (長期100名短期20名)

居宅介護支援事業所さつき園
在宅介護支援センターさつき園
村上市北新保683-9
TEL 0254-66-8877

認知症高齢者グループホームまつかぜ (9名)

村上市北新保683-1
TEL 0254-66-8882



特別養護老人ホームたかつぼ (長期70名短期20名)

デイサービスセンターたかつぼ(27名)
居宅介護支援事業所たかつぼ
在宅介護支援センターたかつぼ
村上市下鍛冶屋572-7
TEL 0254-62-1455

認知症高齢者グループホームたかつぼ (9名)

TEL 0254-62-1478



特別養護老人ホーム垂水の里 (長期50名短期20名)

居宅介護支援事業所垂水の里
在宅介護支援センター垂水の里
関川村大字湯沢728-1
TEL 0254-64-2322

「法人の財産」

それは四百七十人の職員」

法人の貸借対照表に土地、建物といった基本財産額が計上されている。その額は毎年減価しているものの、五十六億円を超えている。

しかし、法人の理念や方針に従って社会福祉事業の担い手となっているのは職員であり、正に法人にとって職員はかけがえのない大切な財産といえる。

鑑定士ではないが、財産であるからには立派な価値のあるものでなければならぬ。価値観のある職員が勤務していることで、地域や利用者の方に信頼され選ばれる施設となる。

通常大切な財産は誰もが大事にするものである。当法人も充分とは言えないにしても単独の財産をかなり持ち出し、職場環境や職員の処遇面を考慮しながら担い手育成に努めている。今後も財産である職員の人件費に充てる財源力の向上を図る必要がある。

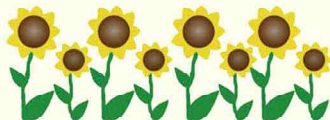
財源力を確保するには、前に戻るが地域や利用者の方に信頼されるため、常にサービスの質の向上、親切丁寧な対応、専門的等々多様なサービスを確実に行うことが経営の安定にもつながる。

財産である職員を大事にすること、地域や利用者の方に信頼されることは直結していると気がつく。

常務理事 佐藤 正幸

看護師・介護士募集中!

随時看護師を募集しています。条件等のご相談は本部事務局(0254-50-2222)まで、ご連絡ください。また当法人ホームページには、平成26年度職員募集も掲載していますので、こちらをご覧ください。



「新体制でスタート」

去る六月九日新役員による理事会が開かれ、理事長には齋藤勉が重任となり、新たなスタートを切りました。役員名簿を掲載しましたので、ご覧ください。

また、新理事から就任のあいさつを、頂きましたのでご紹介いたします。

さて、総務課においては、平成二十一年度から施設事務の本部集中型に取り組んできました。今後は一本化の理念をきちんと持ち、何処にゴールを置くか目的をはっきりさせ、課題の整備に努めてまいりたいと思っております。

総務課長 瀬賀 たえ子

理事就任ごあいさつ

八藤後 清

この度、村上岩船福祉会の人役をお引受けすること身の引き締まる思いであります。常々地域福祉を通じて、少しでもお役にできればと考えています。今後は当法人の使命を遵守し、基本理念に基づき「一人ひとりの安心と笑顔のために」ご利用される方々の立場に立つて福祉サービスの充実に向け、自己研鑽に努めるとともに、微力ながら努めさせていただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

役員のご紹介

役職	氏名	
理事長	齋藤 勉	(再)
常務理事	藤村 正幸	(再)
理事(総務委員長)	植松 尚志	(再)
理事(経営委員長)	倉成 義一	(再)
理事	成田 健夫	(再)
理事	青塚 康弘	(再)
理事	遠山 清一	(新)
理事	八坂 一弘	(再)
理事	板垣 里美	(再)
理事	木ノ瀬 孝一	(再)
理事	板田 清美	(再)
理事	田巻 満	(再)
監事	佐藤 勉	(再)
監事	高橋 大	(再)
評議員	齋藤 六	(再)
評議員	平本 建忠	(再)
評議員	本田 忠男	(再)
評議員	高橋 欽	(再)
評議員(第三者委員)	伊藤 希代子	(再)
評議員	伊藤 マリ	(再)
評議員	一ノ瀬 睦子	(再)
評議員(第三者委員)	須貝 俊郎	(再)
評議員	須貝 陽	(再)
評議員	佐藤 太	(再)
評議員	本間 照美	(再)
評議員	渡辺 銀	(再)
評議員	本保	(再)

職員の質の向上にむけ...

在宅サービス管理課居宅介護支援係では、法人の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員による定期的な会議により、各事業所間の情報交換及びサービスの向上のための取り組みを行うとともに、各職員が一定の力量を担保するために、全員で協議し意思統一を図っているところです。

平成二十四年度は新たな取り組みとして、各事業所の介護支援専門員が参加しての「事例研究」を行いました。平素、支援困難事例に対しては各事業所で事例検討を行い、担当する職員が一人で抱え込まないよう協議しているところです。「事例研究」では、事例提供者自身が事例をまとめることで事例に対する振り返りができます。また、参加者全員で事例を理解し、援助の方針を導き出し、他の同じような事例に対して応用できるように「一般化」することに意義があります。

家族形態の変化や高齢社会による地域力の低下から、在宅生活が困難となる方が増えています。多様な事例に対して適切に支援できるよう、職員の質の向上を図るためにも今後も定期的に事例研究を行っていきたいと思います。

在宅サービス管理課居宅介護支援係 渡辺理恵子

サービスの ご利用について

当法人は2頁のとおり、高齢者・障害者等へのサービスを提供しています。

各事業所に相談窓口を設けていますので、入所又はご利用の際は、お気軽にご相談ください。



うらた

URATA
NO
SATO

「平成二十五年度の取り組みについて」

園長 鈴木 忍

当施設は昨年、入所三十周年、通所十五周年の節目を迎え、女性入所者一名がグループホームへ移行し、また、国県補助金を活用して施設内外の改修工事を実施しましたが、全構想の半分程度です。今後とも中長期的な展望に立ち、生活条件の改善に努めていきたいと思っています。



「満面の笑顔の為に…」

さて、今年度は法人理念の下に大きく三つの柱を掲げ、事業運営を行っていきます。

まず一つ目は、福祉サービス第三者評価の受審です。とかく私どもの仕事は数値化しづらく、成果が見えにくいいため、やっていることが本当にこれだよいか判断に迷うことが多々あります。そこで提供サービスの質を点検し、現状はどうなのか、頑張っていることや、課題、問題点等を明確にし、そこから種々の「ズレ」を認識して、改善に向けた取り組みに繋がっていききたいと思っています。

二つ目は、栄養ケアマネジメントの充実です。昨年度から始めた取り組み、利用者個々の栄養健康状態の維持や食生活の質の向上に向け、一層の充実を図りたいと思っています。そして三つ目は、利用者の権利



「普段と違った雰囲気です」

擁護の推進です。私たちは常に支援する側の優位性を自覚しつつも、チェックリストの定期的な活用等により、虐待の防止をはじめとする人権侵害防止に向けた取り組みを継続していきたいと思っています。



「細かい作業に集中し真剣に作業を行っています。」

そのためにも、職員同士はもとより保護者と職員、そして利用者を取り巻く多くの人間関係において、ざつとばらんに、分け隔てなく日頃から色々なことを話合える環境、風通しの良い職場づくりを心がけていきたいと考えます。

どうか、身近な関係づくりへのご協力をお願いいたします。



あかね寮

「新しい仲間が一人増え、賑やかになりました。」



第三者評価受審に向け、5/29第三者評価について緑風園園長渡邊陽一様より貴重な講演を承りました。

みどりの家

平成25年度の取り組み

園長 佐藤 三三

《事業方針》

利用者の意思及び人格を尊重し、その人の立場に立った支援に努めると共に、住み慣れた地域で安心して働ける場所として、継続的な作業の提供と工賃水準の向上に努めます。また、地域の社会資源として新規の利用者についても、受け入れ態勢の整備を進めます。

《重点目標》

①個別支援計画の充実

専従のサービス管理責任者を配置し、サービスの実施状況の確認や半年に1度支援計画の見直しを行い、利用者の個別支援の充実に努めます。

②自主生産作業の充実

農耕作業では新たな作業として、トマト・ジュース用トマト栽培を実施します。精米作業では新たな顧客を開拓し、米の販売促進に努めます。

クリーニング作業では、主たる事業所と従たる事業所の協力体制をさらに充実させ、円滑に作業ができるよう努めます。

③就労移行支援

就職を希望する方には、積極的に職場実習を取り入れながら、ハローワーク、障害者職業センター等との連携を図り、一般就労に向けた取り組みを行います。

農耕作業

ビニールハウスを整備し、作業の充実を図る

平成21年度から開始し、5年目を迎えた農耕作業。作付面積を増やし、様々な農作物を栽培、販売してきました。平成23年2月からは冬期間の作業として原木椎茸栽培を開始。収穫2年目の今シーズンは約1.3tの収穫量となり、収入面でも作業の中心となりつつあります。

今年度は新たな取り組みとして4月に岩船地区に175㎡のビニールハウスを一棟整備しました。これにより、年間通じて天候に左右されずに屋外で作業を行うことができるようになり、寒い時期から作物の育苗、栽培をスタートさせることができ、早い時期の収穫が可能となります。また、4000本の椎茸の原木についてはビニールハウスとストーブの整備により今までの課題であった温度管理、調整が可能になることで、椎茸の発生をコントロールしやすくなり、市場の需要に対応することができるようにと期待しています。

利用者の作業ニーズに応えるためにビニールハウスを整備したことにより作業の広がりが生まれ、市場ニーズに応え、更なる作業収入の増益を目指しながら安心、安全な商品作りに努めて参ります。

まだ肌寒い4月上旬、利用者と職員が一緒にビニールハウスの骨組みを立て、ビニールハウス掛けを行いました。



ビニールハウスの完成に大喜び。「できたよ。あつたかい。」これからの作業に胸膨らみます。

春



- ・ジュース用トマト
- ・枝豆の苗作り
- ・ミニトマトの栽培

夏



- ・ミニトマトの収穫
- ・枝豆の苗作り、栽培

秋



- ・枝豆の収穫
- ・ストーブを設置し、原木椎茸の管理、栽培

冬



- ・原木椎茸管理・栽培

障害者支援施設

いわくすの里

平成25年度の取り組み

園長 田巻 清美

《事業方針》

利用者一人ひとりの人権を尊重し、利用者の自立を支援するとともに、サービスの質の向上に向けて具体的な取り組みを展開します。

障害者福祉の拠点として、地域ニーズに対応し、地域に信頼され開かれた施設を目指します。

《重点目標》

- ① 第三者評価結果に基づいた改善策の検討・実施による質の向上
 - ② 個別支援の推進
 - ③ 個別リハビリテーションの充実
 - ④ 介護事故の再発防止・感染症予防対策の周知徹底
 - ⑤ 地域生活移行支援
 - ⑥ 職員の資質向上と人材の育成
 - ⑦ 相談支援窓口機能の充実と特定相談支援事業受託の検討
- 昨年度は、「第三者評価」を受審し、当施設の福祉サービスの振り返りや気づき、そして、職員の意識変革へと繋がりました。スタッフ一同、今年度も力を結集して取り組めます。

利用者の皆さんと、このような活動や取り組みを行っています。

生活介護アラカルト！

12月クリスマス会



3月ひなまつり茶会



点字とパズル



パソコン作業



1月書初め



4月避難訓練



創作活動(壁画作り)



ペグボード



「お好み焼き・チヂミ」バイキング大満足!!



創作作品



新人職員の紹介

生活支援員 平山 裕子



この4月に異動してまいりました。毎日皆さんと楽しく過ごせたらと思っています。まだまだ不慣れでご迷惑をおかけすることもあります。よろしくお願いします。

生活支援員 白野 敬史



皆さんとの信頼関係を早く築けるようにしたいです。趣味は読書です。

今年度の上半期主な行事計画

- 5月 笹団子作り、外注食、端午の節句
- 6月 買い物外出
- 7月 磯の香ドライブ、オセロ大会、夏祭り、スイカ割り大会
- 8月 夕暮れ時買い物、かき氷大会
- 9月 カロリング大会、お月見、外注食

ボランティア募集

いわくすの里では、利用者の皆さんの買い物付き添いや、習字の講師などのボランティアを随時募集しています。まずは、お気軽にお電話下さい。

障害者支援施設いわくすの里
0254-150-2100

特別養護老人ホーム

いわくすの里

平成25年度 取り組み

園長 園巻 清美

《事業方針》

利用者一人ひとりの生活の意向に基づいた尊厳を支えるケアの提供に努め、利用者・家族との信頼関係を深めるとともに、地域の社会資源として広く地域住民に利用され、親しまれる施設を目指します。

また、情報の共有とコミュニケーションを大切にし、多職種協働によるチームケアの充実を図るとともに、誰もが意見が出しやすく、健康的で働きやすい職場づくりに努めます。

《重点目標》

- ① 個別ケアの推進
- ② 福祉サービスの質の向上
- ③ 健康の保持と感染症予防対策の徹底
- ④ 認知症ケアの充実と接遇の徹底による虐待防止
- ⑤ ターミナルケアの充実
- ⑥ 介護事故の再発防止
- ⑦ 健康的で働きやすい職場作り

◎デイサービスセンター

《事業方針》

利用者の自立支援、介護予防の視点に立ち、心身機能の維持向上を図るとともに、利用者に親しまれ、楽しみながら利用できる事業所を目指します。

また、家族の介護負担を軽減し、利用者が可能な限り住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう支援します。

《重点目標》

- ① 個別ケアの推進
- ② 認知症の進行防止とケアの充実
- ③ 安定経営と延長サービス対応による地域福祉への貢献
- ④ ボランティアの積極的な受入れと交流
- ⑤ 生活機能向上に繋がる活動内容の検討・実施

手作りおやつ紹介



5.19 キaramelプリン

5.12 チョコ蒸しパン

毎週日曜日は手作りおやつが出てきます。皆さん楽しみにしています。



5.26 イチゴプリン

お花見

特養



H25.4.14水辺の楽校にて



桜がとてもキレイで自然と笑顔がこぼれます♪



H25.4.14水辺の楽校にて

居宅介護支援事業所



質の高いケアマネジメントを実施し、在宅生活を支援します。岩船地区は自転車でお伺いすることもあります。

在宅介護支援センター

介護に関する皆様の相談窓口です。お気軽にどうぞ。☎0254-52-2100

ひまわりの種うえ



ジグソーパズルで指先と脳のトレーニング中



皆さんで習字を行いました。文化祭で展示する予定です。



デイサービス

水辺の楽校へお花見に行きました。桜の木の下で記念撮影です。



折り紙でチューリップを作り貼りました。デイサービスのチューリップは満開です



たかつぼ

居宅介護支援事業所 在宅介護支援センター

平成25年度重点目標 居宅介護支援事業所

◎ケアマネジメントを的確に行い、介護が必要になっても住み慣れた家で望む生活が送れるよう支援します。

平成25年度重点目標 在宅介護支援センター

◎たかつぼの総合的な機能を活かし、地域を支える拠点施設の窓口を目指します。



たかつぼ介護者教室



出張介護者教室
山口地区の健康食です



認知症に関する研修
(園内研修)



園内研修の実技指導



花嫁(職員)のお披露目

特別養護老人ホーム

平成25年度重点目標 特別養護老人ホーム

◎感染症のまん延防止とターミナルケアの充実を図ります。
◎地域から信頼され選ばれる施設を目指します。



節句の餅つき



テラスで日光浴



正月のお屠蘇です



茶道の先生を呼んでのお茶会です

認知症高齢者グループホーム

平成25年度重点目標 認知症高齢者グループホーム

◎家庭的な環境のもと、健康で生きがいのある生活を提供します。
地域の人と日常的にかかわり、自宅で生活していた時の大切な人との関係を断ち切ることが無いよう支援します。



レクリエーション



買い物(スーパーにて)



地域医療研修の先生と一緒に



おやつのパン選び♪

デイサービスセンター

平成25年度重点目標 デイサービスセンター

◎体力や身体機能の低下を防ぎ、認知症の進行を遅らせることで利用者の笑顔が家族の安心につながるサービスを目指します。



玉入れゲーム

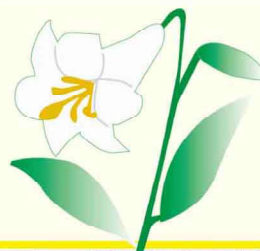


リハビリ体操



瀬波・諸上寺公園にて

ゆり花園



平成25年度ゆり花園の取り組み

園長 佐藤 清八

特別養護老人ホーム

《事業方針》

一人ひとりの安心と笑顔のために、良質かつ適切なサービスの提供に努めます。サービスの提供にあたっては、利用者本位のサービスの提供に努めるとともに他職種との連携・協働を図ります。また、地域に理解され開かれた施設運営に努めます。

《重点目標》

- ① 利用者本位のサービス
- ② 看取りケアの充実
- ③ 栄養ケアの充実
- ④ 地域との連携と協力
- ⑤ 職員の資質の向上

在宅介護支援センター

《事業方針》

地域の高齢者やその家族からの相談に心じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように行政機関・サービス提供機関・居宅介護支援事業者等との連絡調整を行います。

《重点目標》

地域に暮らす高齢者の相談支援及び地域の福祉ニーズの把握に努めます。

もちつきわっしょい!



お正月

クリスマス



行事風景



つきたてのおもちを食べながらジュースで乾杯♪



お正月と言えば福笑い?!



職員の演奏に合わせてみんなで童謡「ひなまつり」を歌いました



村上市山北中学校3年生と山北商工会女性部の皆様が園のまわりの草取りをしてくださり、きれいなお花も植えてくれました



朝日生命保険相互会社様より車いすをいただきました



ほろも

《事業方針》

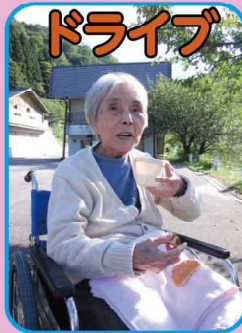
利用者一人ひとりの「自己決定の尊重」、「可能な機能の活用」、「生活の継続性と維持」ができるよう個別のニーズに合わせたサービスの提供に努めます。また、職員自ら意識を高め、知識・技術・感性(気づき)面の向上を目指します。

《重点目標》

- ① 24時間シートの活用
- ② 専門的な知識・技術の向上
- ③ 機能訓練の充実
- ④ 感染症及び事故防止への取り組み
- ⑤ 社会資源としてのベットの有効活用
- ⑥ 食生活によるQOLの向上



SL見学



ドライブ



忘年会



節分行事



お散歩

ユニットケアとは…

入居者一人ひとりの尊厳を守り、それぞれの自立を尊重しようという考えのもとで生まれた介護ケアの新コンセプトです。全室個室でプライバシーが確保され、家庭的な雰囲気のなかできめ細やかな介護ケアを行う事ができます。

デイサービス羽衣



「1、2、3…」
掛け声も元気です

毎日転倒予防体操の後に棒やゴム、ボールを使用しての体操を1週間交代で行っています。また、個々に合わせた個別機能訓練を行い、みなさん体も心も若々しく過ごされており。又、定期的に理学療法士が来園し、日頃の体操の成果やみなさんの元気の良さを確認しています。



今年度より新サービスとしてハンドマッサージを始めました。利用者様にはリラックスを提供し、又ハンドマッサージを通じて心の通うサービスを目指します。マッサージ中には会話ははずみ穏やかな表情がみられております。



バスハイクでの車中の様子
この日は暑かった為、アイスを食べました
外で食べるおやつも最高です



花の先生によるフラワーアレンジメントの様子
思い思いに活け花を楽しみました



梅漬け作業の様子

足湯に行きました
体も心もリラックス!



梅を漬けた汁で梅ゼリーを作り、おやつ時にいただきました。甘酸っぱくておいしかったです。



題字: 近 ミトウ様

事業計画

利用者と職員の相互で豊かな関係性を大切にし、その方の尊厳を大切に生活を支援するために個別の生活ニーズの把握に努め、個別ケアの推進に努めます。また、地域との交流を継続して実施していくとともに、家庭的な生活環境の整備を進めます。

重点目標 ①個別ケアの推進 ②家庭的な生活環境の整備 ③健康増進 ④地域とのつながり ⑤防災対策

屋外給食



「外で食べると、おいしいね」

「久しぶりだねえ」



「元氣だったかね？」



下関市で、お買物をしていたら
なつかしい方に会いました

下関市

みどりの少年団



お花のプランターを頂きました

踊りのボランティア



「たいしたもんだねえ～」

さくらの会の皆様に誕生会で、
踊りを披露していただきました



地域との交流

田植え



昔とった杵柄です



「秋には、豊作だよ」



湯沢友愛会の皆様が、耕して下さいました



世代交流芋植え

トピックス！



「24時間テレビ」より福祉車両を寄贈して
いただきました！

関川アップダウンマラソン



下関保育園の皆さんとさつま芋の苗植えをしました

青空の下、マラソン大会に参加した職員を応援しました。逆に参加した方から声援を頂きました

さつき園



平成25年度の取り組み

《事業方針》

一人ひとりの利用者への安心と喜びのある生活を実現出来るようなサービスの提供に努めます



実習生と
ボーリングゲーム



玉入れ
しています



苺を
味わう会



大根を
味わう会

重点目標①
コミュニケーションを大切に
しその中から一人ひとりの思
いを感じとり、個別ケアにつ
なげています

重点目標②
質の高い介護を目指し、
研修会の機会を設け自己
研鑽を奨励します

重点目標③
食行事による楽しさの
構築、個々に合わせた
口腔ケアを実施します

重点目標⑤
終の棲家としての役割を
担い本人、家族の思いを
大切にしたターミナルケア
を実施します



重点目標④
地域に開かれた施設
を目指し、福祉の拠点
として位置づけられる
ように努めます



温冷配膳車を導入して
適温の食事を提供できる
ようになりました



痰吸引の
実技講習



生憎の雨でしたが
玄関先をお借りして
祭り見学できました



ありがとう
ございました

グループホーム まつかぜ

事業方針

家庭的な雰囲気の中で
地域との関わりをもち
楽しさと尊厳のある生活
を営むことができますよう
努めます



よもぎ採りしました
笹だんごも作りましたよ



重点目標②
地域住民の一員として地域での
奉仕活動や地域の行事に参加し
交流を図ります



職員と一緒に
食事の準備や
あとかたづけ
をしています

お幕場茶会、松林の中で
野点のお茶を愉しみました

重点目標①
利用者の心身の状況や希望を踏まえて
介護計画の充実を図ります